

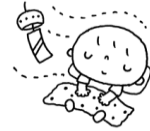


めぐみだより



病児病後児保育室「めぐみ」
2021年 7月 第41号

だんだんと暑い日が増えていき、夏の訪れを感じるこの頃。天気、気候、子どもの体調管理には気を遣う日々が続きますね。つい、大人の感覚で部屋を冷やしすぎてしまうこともあるので、気をつけましょう。



～令和4年4月から保育園入園を考えているかたへ～
保育園は、子どもにとって、健康な心と身体を育む社会生活の場となります。集団の場であり、特に入園後最初の頃は感染症にかかることもあるので心配になるでしょう。けれども、そのような状態がずっと続くのではなく、子ども達は感染症にかかるたびに自分の力で免疫をつくり、その都度、着実に丈夫な身体になっていきます。

数か月もすると保育園の入園準備が始まります。子どものために見通しをもって準備し、イザという時にあわてないための“【京都市立医科大学 男女共同参画推進センター】あわてないガイド”より、一部抜粋してご紹介します。

☆ 小児科のかかりつけ医をみつけましょう

子どもが病気になった時に頼りになるのが「小児科のかかりつけ医」です。生後2カ月からの予防接種開始を機会に子どものことを色々と分かってもらえると安心です。かかりつけ医の先生と信頼関係が築け、なんでも相談できる関係ができると理想的ですね。

☆ 予防接種（ワクチン）を受けましょう

予防できる感染症はワクチンを受けて予防し、子ども達を感染症から守ることがとても重要です。かかりつけ医と相談し予防接種を受けましょう。詳細は下記ホームページへ！

KNOW★VPD！ ワクチンで防げる病気（VPD）を知って子ども達の命を守る

<http://www.know-vpd.jp/>

☆ 子どもが熱を出した時の対応を家族で相談しておきましょう

入園後の最初の頃は、子どもはたびたび熱を出して保育園に行けなくなることもあるので、その時にどうするかを家族で相談しておきましょう。

- ◎ パパ・ママの勤務体制と協力体制
- ◎ 祖父母など身内のサポート
- ◎ 看護休暇制度のこと
- ◎ 病児・病後児保育のこと
- ◎ その他のサービスの情報収集



☆先輩パパ・ママからのワンポイントアドバイス☆

お世話になった周囲の方々には、子育てに協力してもらったという感謝の気持ちは忘れずに。次の子育てで世代への支援で、いつか恩返しできたらいいのです。

がんばりすぎず、周囲の頼れる人には、頼りましょう。

子どもに無理をさせないことが、大切！

自分のペースで、子どもと向き合う時間を持ちましょう。

子どもが小さい時は、子育てと仕事どちらも100%完璧は目指さずに、どちらも楽しむ！くらいの余裕をもっていきましょう。